

自然との関わりを体験しながら、保育内容（環境）を学習する。

授業概要

幼稚園教育要領（環境）に関する講義を、自然との触れ合いを中心に行う。保育の正しい理解と知識、教材の利用法や児童との関わりについて実践例や多方面な視点から考察する。授業は講義を主とするが、内容によっては野外にて実際に体験したり観察したりすることを指導する。

授業計画

第1回	講義の進め方、アイスブレイク、幼稚園教育要領（環境）とは
第2回	地域の文化と保育（環境）1 春の自然観察と保育
第3回	地域の文化と保育（環境）2 野遊びと保育
第4回	地域の文化と保育（環境）3 子どもの環境と保育
第5回	保育（環境）アクティビティとは
第6回	保育（環境）アクティビティ作成その1 構想を練る
第7回	保育（環境）アクティビティ作成その2 イラスト作成
第8回	食育とは
第9回	木育とは
第10回	歳時記と保育
第11回	『ジブリ作品』と保育1 「もののけ姫」から保育の環境を考える
第12回	『ジブリ作品』と保育2 「風の谷のナウシカ」から保育の環境を考える
第13回	保育（環境）絵本とは
第14回	森の幼稚園とは
第15回	アクティビティ発表
第16回	定期試験

到達目標

保育内容（環境）に関する実践知識・技術の習得や自然に関する知識、指導技術を身につけ、教育現場において効果的かつ適切な指導ができるようになることを目的とする。

履修上の注意

体験や観察を伴う講義は、教室にて説明後、野外にて行う。その際はあらかじめ前授業で内容や服装、準備などを知らせる。講義はPowerPointの利用やワークショップ形式で行い、学生が参加できる授業とする。

予習復習

講義内容の復習をすること。

評価方法

1. 定期試験
 - ① 環境に関する知識と理解
 - ② 関心の到達度
2. レポート（アクティビティ）作成と発表
3. 意欲
 - ① 積極的に授業に参加すること。
 - ② 遅刻・欠席をしないことを原則とする。

テキスト

印刷物を適時配布する。